

市政に関する地域座談会実施報告書

◇平成24年度 第2回（通算60回） 市消防団第2分団

開催日時	平成24年6月21日（水）午後7時30分～午後8時50分		
会場	文化センター	出席者数	24人 （男22・女2）
地域座談会の内容（市長講話・質疑応答の内容等）			
<p>質問（1）寒河江市の住宅街に公園が少ない。天童市に比べると少ない。西根公園は、防犯上子どもたちを遊ばせるには危ない。天童市は、新興住宅街の公園に遊具があってよい。また人目につくような場所があり、子育てサポートしていく上で安心である。木の下団地の公園に市による遊具設置を要望します。地元で子供を遊ばせたい人が遊具をつくれと市職員に言われたことがある。間違いではないか。</p> <p>回答（1）子育て中のお母さんたちと話し合い、ハートフルセンターの中に子育て支援センターをつくり、そこを改装して子どもが遊べるスペースを作っている。7月8日にオープンする予定である。 地域毎に公園があるが、整備されていない。地域の人と一緒に頑張って整備していきたい。最上川ふるさと総合公園には県にお願いして大型遊具を整備した。子ども連れの家族が大勢来ている。 管内の子育てを充実していかなければならない。新しい制度を作って地域の人と一緒に公園を作っていきたい。地域の人が勝手にどうぞという気持ちは持っていない。子どもが満足する場になっていないのであれば、地域の人から具体的にあげていただきたい。</p> <p>質問（2）ほなみ団地は良い道路になったが、西根小前の道路交差点では変形し、通学上危険。小学校PTAで立哨している。陵東中の方まで整備してほしい。</p> <p>回答（2）通学路にもなっているので、安全確保の面で全体の交通の流れや交通量も勘案し、検討していきたい。町会長などで要望がまとまれば出していただきたい。</p> <p>質問（3）連合会長から、ほなみ団地の道路に信号機設置決定と聞いたが、いつできるのか。</p> <p>回答（3）通学時に立哨していただいているPTA代表・指導員と信号機設置について話を聞いている。警察からほなみ団地に信号機が付くことを聞いている。信号機設置には公安委員会の予算になり600万円かかる。予算を伴うことであるが、早期設置を要望していきたい。</p>			

質問（４）東日本大震災のような大地震などの場合、学校に親が迎えに行けばよいのか、待っていればよいのかをたずねるのに、現状は電話だけでの対応である。市が予算をとって一斉メールのシステム整備ができないか。学校単位でやると経費がかかる。

回答（４）大震災では携帯もパンクした。非常事態に対応する研究をして、調べて活用していきたい。台風などでは休校かどうかは学校で判断している。メールだけだと面倒ではないのではないのか。研究してみたい。

質問（５）ほなみ団地の番地がまだ決まっていない。住所はどうなるのでしょうか。また、団地にオートボックスは来たが、空き地がある。店舗が決まる予定はあるのか。

回答（５）住居表示はほなみ一丁目、二丁目と決まったが、団地全部なるわけではない。名称については条例を改正した。間もなく改正になる。組合の土地は保留地のみで、あとは個人所有地である。市役所まで道路がきれたので商業の立地条件がよくなったが、空き地に何が来るか調べてみないと分からない。情報を聞いておきます。

質問（６）文化センターの裏に何か新しく造るという話を聞いたが、資料にある体育施設整備事業をいうのか。

子どもがテニスをやっている。そういう施設ができるのであれば、練習する場所少ないので、なるべく早く造ってほしい。

回答（６）体育施設整備事業は、それをいうわけではありませんが、お聞きになりたいという屋内多目的運動施設の建設については、予定では来年１１月に頃までには間に合わせたい。原案は、ここ（文化センター）の奥の所である。大体２億円でテニスコートゆったり２面とれる施設の規模の構想である。５月下旬から６月初めにかけて４～５ヶ所で地域の人々の声を聞いたり、パブリックコメントなどでご意見を聞いて、原案にどう反映させていくかまとめているところである。そのなかではきちんとしたものを造ってほしいという意見もありました。場所もみんなが来ることができるようなオープンな所がいいとか、一部の人だけが使う施設に２億円もかけるのはどうかという意見もあった。みんながすべて満足する施策というのはできないし予算もある。教育委員会で場所も含めて、見直しも含めて検討しているところである。うまくいけば、今年秋に予算化して設計して、来年度に着工して、１１月頃に間に合わせたいという原案である。その原案に対して、急ぐことはない、もっとちゃんとしたものをつくれというご意見もありますので、教育委員会の方で検討しているところである。基本的には作っていきたくて考えている。

質問（7）最上川のところにカヌー場と野球場を造っているのか。

長岡山の野球場を残して照明をつけてもらいたい。

回答（7）野球場もできるグラウンドではあるが、それ専門ではない。

長岡山については、新第5次振興計画重点プロジェクトに長岡山「市民の憩い花咲か山」プロジェクトがあります。長岡山の公園につつじの植栽を増やして、道路を整備して多くの人に来てもらいたい、市民の憩いの場として整備していきたいと考えている。上のグラウンドも使用頻度が少ない。野球場は老朽化していて、整備をしていったらよいのか別の所に造ったらよいのか、別の所に造るとなると予算がかかる、どうしたらよいかを市民のみなさんの参加を得てワークショップ形式で意見をいただいて進めていきたい。野球場については、あのままではなんとも。昔は高校野球をしたところで、こういう場所で意見を聞くと、残す声が強くなると思いますが、残して整備していくのであれば、場所は広げられないし、夜間照明やスタンドをきれいにするといった整備の方法しかない。みなさんのご意見をお聞きしながらやっていかなければならないと思っているところである。

質問（8）コンサートの企画に従事しているものですが、文化センター管理事業拡充に関連して、文化センター市民文化会館が大きすぎる。600人くらいの収容人数であれば、十分事業が成り立つ。ハートフルセンターの200人規模では足りない。文化センター市民文化会館を区切るなどしての音響を変えずに少ない席で利用できないものか。仙台市泉のホールでは、オーケストラピットがあり、前の椅子を下げてステージを広げ、客席を少なくしている例もある。改装には費用はかかるが。

回答（8）文化センター管理事業拡充はピアノの購入です。コンサートをぜひ聞きに来てほしい。市民文化会館の音響を変えずに客席を少なくすることは、研究してみなければ分からない。1000人は入れる客席も必要である。

質問（9）サクランボ農家です。個人客があまり来ません。リピート客がどのくらい来ているのか。観光サクランボ園で、お金を払ったけれど美味くなかったのでは、客は二度とは来なくなる。値段に差をつけて、高い値段ではあるが味は保障するとすれば、客は何回も来ると思う。

回答（9）データはとりまとめ中である。バス台数は去年並であるが、一台当たりの人数が少ない。昨年と同じか少ないのではないか。観光サクランボ園はどこでも同じ値段で味に差がある。戦略を練り直して需要にこたえられるよう農協と話し合っていきたい。

質問 (10) 少子化について、見合いと結婚ですぐ子どもは増えないと思う。一人子どもがいるものが、二人目三人目と増えていく可能性が高い。でも一人っ子が多いのが現状。子供が小さいうち働きたいが雇用先に断られる。小さい子供がいると働けない。そういったことを一人目で体験しているから二人目をつくらない。小さい子どもがいる人が働ける環境をお願いしたい。

回答 (10) 子育て支援の三つの施策がある。子育て環境の支援、経済的支援、社会が子育てしている家族を支援。企業がこの支援に立ち遅れている。男性の育児休暇取得はめったにない。企業も労働力が減少してくることを理解してほしい。行政として何ができるのか。できることは少ないと思うが、企業と話し合い、申し上げていきたい。